

# 流産手術・子宮内容除去術の合併症を考える

～“掻爬”がAsherman症候群のリスク要因となるのか～

**日時** 2016年4月25日(月) 18:30 - 20:30 (受付開始18:00)

**会場** ソラシティカンファレンスセンター 1F Room B

●東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ TEL 03-6206-4855  
●JR御茶ノ水駅徒歩1分、東京メトロ新御茶ノ水駅直結 ●http://solacity.jp/cc/

**定員** 80名 (定員になり次第締切ります。お早めにお申込みください) 参加費無料

**座長** 大須賀 穰 先生 東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 教授



Vorpall  
Women's Health

この度、第68回日本産科婦人科学会学術講演会の共催セミナーで来日するカナダ・ブリティッシュコロンビア大学総合病院の病院教授 Dr. SandersおよびDr. Flukerによる追加講演の機会を得ましたのでご案内いたします。

本会ではAsherman症候群を中心に、Dr. Sandersから子宮鏡を用いた診断と治療管理について、Dr. Flukerには初期の流産症例の観察から得たリスク分析結果と対策としての手動真空吸引法 (Manual Vacuum Aspiration: MVA) についてお話しいたします。また、東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 准教授 平池 修 先生からは、Asherman症候群のレビューおよび経験症例についてご発表いただきます。

本会では日本産婦人科医会の研修参加証を発行いたします。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

18:30-	● <b>開会挨拶</b> ヴォーパル・ウィメンズヘルス株式会社
18:35-19:05	● <b>講演 1</b> <b>不妊治療を念頭においたAsherman症候群の取り扱い</b> 平池 修 先生 東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 准教授
19:05-20:05	● <b>特別講演</b> <b>Curettage and Asherman's Syndrome - assessment, management and risk reduction strategies</b> <b>講演 2 - Hysteroscopic assessment and management of Asherman's Syndrome</b> Barry H. Sanders, M.D., FRCSC Clinical Professor, Vancouver General Hospital, The University of British Columbia <b>講演 3 - Complication of D&amp;C and the risk reduction strategy including use of MVA</b> Margo R. Fluker, M.D., FRCSC Clinical Professor, Vancouver General Hospital, Vancouver Coastal Health, The University of British Columbia
同時通訳 付き	
20:05-20:25	● <b>総合討論</b> 閉会

- 日本産婦人科医会の研修参加証を発行します
- 終了後、情報交換会を行います
- 4月17日(日) 申込み締切

お問合せ  
お申込み

ヴォーパル・ウィメンズヘルス株式会社  
TEL:03-5797-7584 FAX:03-5797-7594  
info@vorpallwomenshealth.com

FAX 03-5797-7594 または [info@vorpallwomenshealth.com](mailto:info@vorpallwomenshealth.com) にてお申込みください (4月17日締切)

ふりがな		ふりがな	
お名前		ご所属	
お電話		F A X	
email	申込み完了のお知らせ <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要		